

2022年9月10日読書会用

第311回山口西田読書会（2022年7月30日開催分） プロトコル

楯谷智子

## 1. テキスト

「場所」四 255頁の1～5行目

## 2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

キーワード「先験的空間」

キーセンテンス「我々の見る知覚的空間は直に先験的空間ではない。併しそれは先験的空間に於いてあるのである、而して先験的空間の背後は真の無でなければならぬ。」

## 考えたこと

私の最初の記憶は、断片的なものです。1歳台からあります。幼児を取り巻く世界は粗削りで、恐怖と驚異に満ちていました。それを人生最初の経験と呼んで差し支えなければ、その時の「先験的空間」は未熟であった一方で、「一般概念の外に出」て「真の無の場所に至る」ことはかえって容易であった気がします。先験的空間は経験によって成長するものなのでしょうか。それとも、経験は「一般概念の外に出る」ことを邪魔するのでしょうか。